



# 春画

# SHUNGA

描かれた性のたのしみ

近年再評価が進む、江戸時代に最盛期を迎えた春画。  
「江戸時代のひとはなぜ春画を創り出したのか」  
「どうやって春画を作成し、普及させ、楽しんだのか」  
「現代の私たちにとって春画は何をもたらすのか」  
春画研究の第一人者で京都芸術大学准教授の石上阿希さんを  
招いて、わかりやすくお話しいたします。

※性表現を含む図版を使用します。ご留意のうえご受講ください。



鳥居清長「色道十二番」国際日本文化研究センター所蔵

河鍋暁斎「はなごよみ」国際日本文化研究センター所蔵

日時 2024年6月8日(土) 14:00~16:00  
会場 高知市文化プラザかるぽーと 11階大講義室  
参加費 無料  
講師 京都芸術大学准教授 石上阿希



講師プロフィール  
2008年、立命館大学院博士課程修了。  
博士(文学)。  
大英博物館アジア部日本セクション  
プロジェクトキュレーター、などを経て  
現在、京都芸術大学准教授。  
2015年国際浮世絵学会新人賞受賞。

